



# みんなで力を合わせ安心して住み続けられる街づくりへ 笹部地区・住宅開発を考える集いで「共通の要望5項目」確認

「笹部地区開発を考える集い」(笹部地区開発を考える連絡会・事務局山下自治会大蔵班)が12月10日、東谷公民館で開かれ、私(黒田)も参加させていただきました。当日の参加者は49人で活発に意見交換。東谷コミュニティ協議会から福田弘彦会長、同安全部から野呂義宏さん、県議会や市議会からも6名の参加がありました。

## 会場いっぱい、発言次々

集いでは、笹部の住宅開発の話があつた当初から、地元の皆さんとたいせい住宅兵庫(株)と協議・話し合いを続けている山下自治会・大蔵班が経過や現段階の状況を報告。

交通問題や土砂災害警戒区域、家屋調査、振動・騒音、日照権、住民への説明と対話などの課題があること。今後、地域住民の不安や憤りを払拭するために、どのような要望をどんなふうにしていくか、会場いっぱいの参加者から要望や現状に関する発言がありました。

## 個別だったら説明？

\*結局、道路が狭く10tダンプが曲がれないから4tダンプに変更になる。「たいせい」は、4800台(往復で9600台)が通るとしている。道路の問題だけでなく、甘露寺北の感知信号で良いのか。

\*B街区は開発がはじまっている。量店のところにガードマンが配置されているが、全体の説明会をしかりしてほしい。

\*「たいせい」は、個別だったら説明し意見を聞くとしているが、問題が起これたらどうするのか、どうなるのか不安。

## 転居後の車の増加大変

\*住宅開発を止めたら〜という声をあげたらどうか。

\*道路の問題もあるが、住宅ができ、引越してきた後の車の増加の方が大変ではないか。

\*ガードマンも立っていたら良いんじゃない、しっかりと安全確保してほしい。

\*「たいせい」から下請け業者につきり指導してほしい。

\*東谷小・中、高校生の登下校も心配。特に下校時間がまちまち。

\*東谷小学校側も生徒の登校、下校を心配している。開発の内容を聞きたかったという声もあがっている。

\*安全に工事ができるか、引越しの後の交通量などの安全についても市の方で考えてほしい。

\*山下から笹部の道路の付け替えはどうなっているのか。

\*「たいせい」が言っていた約束(作業業者の通り道などが守られていない。運転手の個人差もある、トラブルにならないか心配。

\*家屋調査しているところもあるし、わからないことがある。

\*騒音や振動で普段の生活が脅かされるのは本当に困る。

…などがだされ、一緒にまとまって行動していく方向として、以下5点を共通の要望(市長や事業者に対して)として整理、確認されました。

また、家屋調査や騒音の測定器の貸出のことなどは、個別の課題だけれど、連絡会としてまとまっていこうと、会議の後、対応されています。

「たいせい」がまとまって説明会をやらぬ、個別にしか聞かないという態度の中で、地域の中で困ったという声をみんなのものにして、連絡会として行動されていること。今後も、困った方の受け皿になっていこうという連絡会の役割はありがたいですね。

## 笹部地区開発に伴う要望

- 1、甘露寺北の交差点の感知式点滅信号を改善し、笹部地区開発にともなう工事用車両の出入りで、一般車両や学童・住民の通行に支障がないよう、安全を確保すること。また、安全要員を常駐すること。
- 2、今後の住宅開発を踏まえて、山下、下財、笹部地区内の道路通行量の現状把握と将来予測を踏まえた科学的な安全対策をおこなうこと。
- 3、土砂災害警戒区域での防災対策の早期確立を行うこと。
- 4、山下駅から初谷川を横断して笹部に通じる道路を新設すること。
- 5、自治会加入、未加入者の違いに関わらず、開発業者は山下、下財、笹部地域の全体の説明と対話を行うこと。



造成工事がはじまっているB街区。

下の写真は、この看板横の造成中の処。田んぼだったために水たまりになっています。(写真は12月18日正午時点)住民の方の貯留地や治水のことに大きな関心が寄せられているのは当然ですね

C街区の全容の写真。輪の中の真ん中・白いものが、上の写真(B街区)の看板です。既存の住宅が張り付いていることや広大な面積がわかります。

裏面に、川西市防災マップ(ハザードマップ・北部版)の一部などを掲載しています。